



《子育て》

## 男の子育児は女の子に比べて大変???

No.1



「男の子の子育ては女の子と比べて大変」「男の子って、女の子に比べて身体も弱くて大変」などと言われることがあります。子どもに限らず、「女性の方が男性より丈夫だ」と言われることもよくあります。これは、女性の方が男性よりも寿命が長いこと、妊娠・出産という命がけの大仕事を乗り越えられることなどからくるイメージが大きいようです。

実際、厚生労働省による日本人の寿命や余命に関する最新の調査では、女性の方が男性よりも寿命が7歳長いというデータが出ています。女性の方が男性より寿命が長い根拠としては、一般的に、女性の方が環境の変化への適応力が高いこと、男性よりも少ない代謝で効率よく生活できること、男性は組織の中でのストレスやプレッシャーにさらされる環境にいることが多いことなどが挙げられています。同省の乳幼児死亡率に関する調査でも、長年、女子よりも男子の死亡率が高い傾向にあります。男の子の方が女の子より胎児期に大きくなる傾向があり、母体への出産時の負担やトラブルも多くなりがちだそうです。また、男の子は代謝が活発なことや、出生時の肺の機能の成熟が女の子と比べて平均的に遅れがちであることも、幼いころの男の子の弱さにつながっているようです。

言葉が出る前の段階の「指差し」の動作や、言葉の出方、単語の獲得については、実際、女の子の方が男の子より平均的に数週間早く出る傾向もあるそうです。言葉の出方には、性別よりも、やはり出生後から単語が出始めるまでに、どれだけたくさんの言葉のシャワーを浴びたかが大きく影響します。単に周りに話す人がたくさんいるというだけでなく、その子に向かってたくさんの声かけがされ、反応に対して応答がある、という経験の積み重ねによって、言葉は獲得されていきます。運動能力に関しても、科学的にも男女の発達差はないとされています。それは、周りを見ても男女や体格に限らず、それぞれの赤ちゃんのペースで運動能力を獲得していきます。

さて、多くの男の子は、1歳半ぐらいから、誰が教えたわけでもないのに、乗り物に興味を持ち出します。この現象に対しては、「男脳」と「女脳」の違いによるものとする説があります。これは、赤ちゃんがお腹の中にいる時に浴びたホルモンによって、「男の子らしい行動を多く示す男脳」や「女の子らしい行動をよく示す女脳」が作られ、出生後の行動に影響を及ぼすというものです。ガラガラや、ぬいぐるみや、音の出るおもちゃなど、0歳代の赤ちゃんが興味を示すおもちゃの対象に男女の差がないのは、子育て中の方々も実感できることだと思います。それがなぜか、男の子はいずれ車や電車

